

為シタルカ本部ニ集ルニハ月連日ニテ紅ニシテ
結束秘録ニテ殆ト換由ノ派葉ヤニ至リタル處ニ至
有高山久蔵ニ於テハ過版前ニハ無事神祕ヲ訪ニ計
旌ヲ依頼シタル事案ナリ

三 争議 同業ノ悪行

争議 同業備負吉田恭次 高山久蔵ニ
名ハ本井ニテカ日会社所遊ニ於テ本筋ニテ
ル為前睡者ニ同行旅論ノ上叙被シタルカニ
夕前再心高山久蔵ニ 小川徳ニ 野田後藤ノ職工ニ
大木那ヲ会社所遊ニ於テ被シタルカニ直ニ人
等ヲ同行スルト共ニ引續キ運薪者入ルヲ被シタルカ
此種者ニ於テ取調中ニアリ
江上ノ状況ニテテ争議同ノ結果被シタルニ及ニ会社側ハ益々懸念ニ成
ナルノ以テ争議同ノ降取急ニテ形勢ニ在リ経道引續キ去ル
石 久 報 候 也

社会人士の正義に就ふ

今や世間は何処も不景氣心持ます、私達の働いて居りませぬ政府下等商賣のクソ印東京メイヤ
又株式會社も世間並の不景氣心從業員は僅かの利益心一日更替の作業をして来ませぬ、

何故に冷感悪情の処置

一月二十五日午後三時當會社は苦境にあつては儲からぬと云ふ理由の下に男女工五百四十八
名の過半数七十二名を何等の豫告なくに職首の心を最少は三ヶ年以内で金七圓餘り給
ふ年勤の友人で金四拾圓の首切金心一丸、

私達は此の不景氣に此の僅少の年当金で何うして職を得られませう、何うして食を求めませう
如何に様も悪いの心再三再四交渉しましぬか會社は頑として嘆歎に慍にもせぬ、漸く去る
十五日社長里野準一郎氏の出席を求め交渉しましたか、七十二名に対し僅か金百十四
圓五十餘追加す、回答に一人あり金九十餘に一人割当られませぬ少しも人間の邊り
を示さぬの心持ます、是れ會社は金が悪い悪いと言ひながら一方社員も義にて曰ふ